

平成30年7月豪雨水害 桂川流域 現地調査報告 (第1報)

2018年7月27日

京都大学防災研究所 水資源環境研究センター
社会・生態環境研究領域



京都大学
KYOTO UNIVERSITY



調査日程・範囲

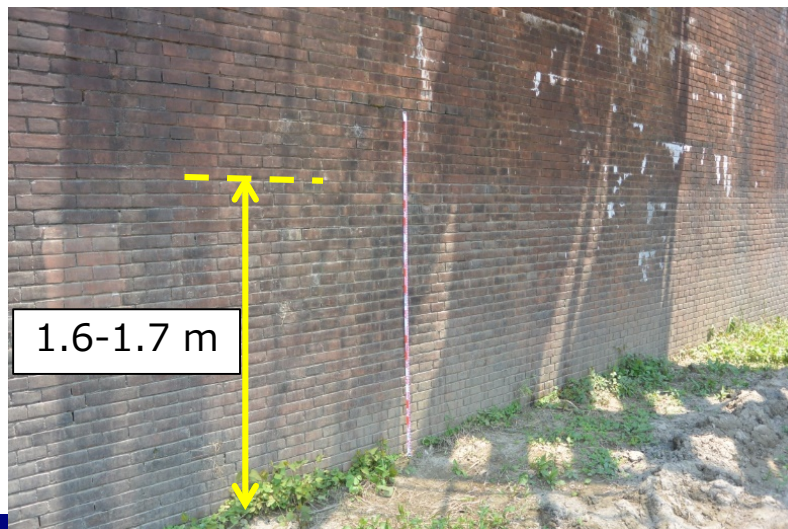
調査日 : 2018年7月18日
調査範囲 : 淀川水系 桂川流域
調査内容 : 平成30年7月豪雨における浸水状況、河川構造物等の被害状況の調査

調査箇所 :

- 京都府南丹市
- 京都府亀岡市
- 京都府京都市
- 日吉ダム（京都府南丹市）

浸水の状況

JR山陰本線橋脚に残る浸水痕跡（亀岡市請田地点）



河川構造物の被害

浸水の痕跡水位は～0.6m程度。右岸の1筋隣の犀川と並行する道路沿いでは微低地形のためか浸水深が高くなる傾向。



河川周辺の被害

水田の被害（越流・浸水後の土砂堆積、亀岡市保津町）



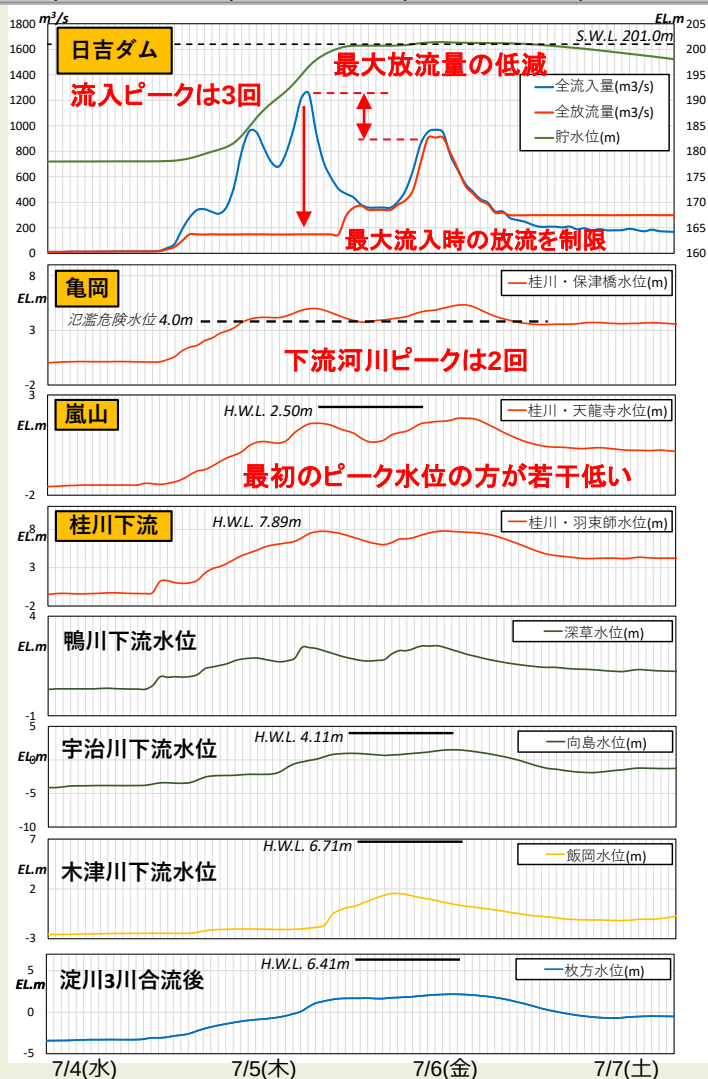
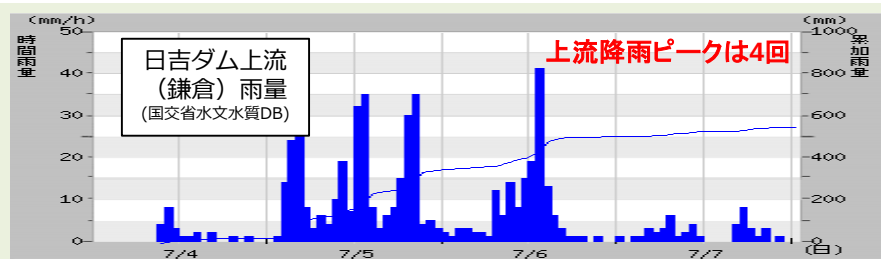
フェンスの倒壊（新庄橋上流）



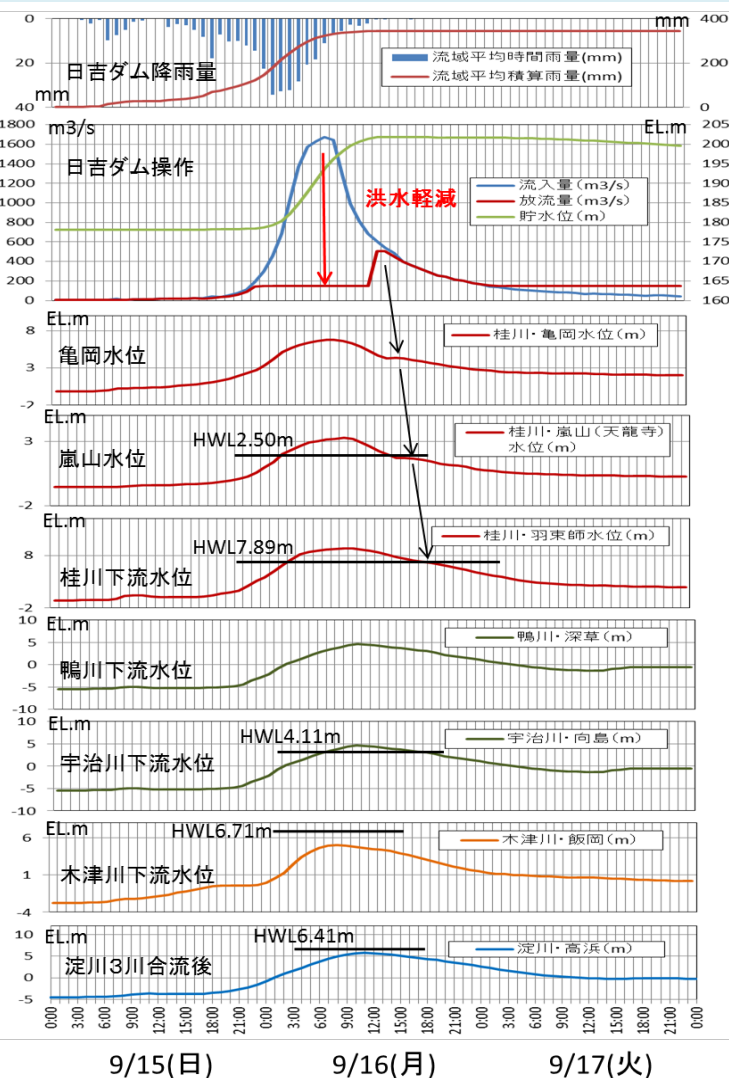
フェンス最上部まで草木が付着
（新庄橋上流）



日吉ダムの洪水調節操作と下流河川水位の推移



参考：
平成25年台風18号出水時のダム操作と河川水位



この度の水害により被害に遭われた方に心よりお見舞いを申し上げます。また、大変な中、貴重な情報提供など、現地調査にご協力くださった住民の皆様に深く御礼を申し上げます。

本報告は速報版であり、続報の発表に伴い、今後内容が変更される場合があります。また、続報が出されている場合はそちらを参照してください。

